

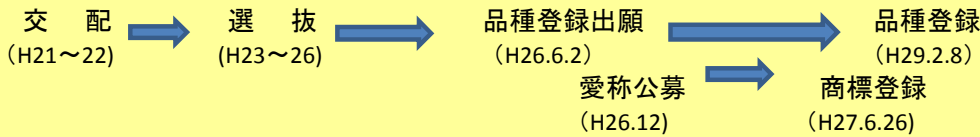
# 兵庫県オリジナルイチゴの種苗生産体制の構築及び今後の振興にむけて ～The Return of the Queens～

農林水産技術総合センター 農業技術センター 農産園芸部 ○本田 理、山本 晃一、小河 毅

## 1 兵庫県オリジナルイチゴの開発と種苗登録

近年、兵庫県オリジナルのイチゴ品種を望む声が高まっていた。そこで、様々な品種・系統を交配し、育成した5,777株の選抜と試作を重ね、最終的に2系統を選定した。甘くておいしさ自慢の「兵庫I-3号(愛称:あまクイーン)」、果実が大きくインパクトの強い「兵庫I-4号(愛称:紅クイーン)」とし平成29年2月8日に品種登録した。

### 【新品種育成の経緯】



### 兵庫I-3号 (愛称:あまクイーン)

- 糖度が高く、おいしさ自慢。
- 丸みをおびたかわいい形。
- 柔らかくジューシー、とれたてが最高!
- “とちおとめ”に、“さがほのか”の花粉を交配した中から選抜。
- 収穫開始時期が早く、年内収量が多い
- 糖度が高く、果肉が柔らかいためもぎ取り向き



章姫よりも甘く、芳醇な香り。少し柔らかいので直売向き

表 果実の主な特性

品種名	平均果重(g)	貫入抵抗値(gf)	最大糖度(Brix)
兵庫I-3号 (あまクイーン)	19.2	138.5	15.8
兵庫I-4号 (紅クイーン)	26.3	204.5	12.9
章姫	23.2	115.2	11.3

※貫入抵抗値: 果実の硬さを示す数値であり、高いほど果実は硬い

### 兵庫I-4号 (愛称:紅クイーン)

- ボリューム感たっぷりの大きな果実
- 高糖度と酸味のバランスの良い食味
- つやのある鮮やかな赤い果実
- “さちのか”に、“とちおとめ”の花粉を交配した中から選抜。
- 果肉がしっかりしており、輸送性に優れる

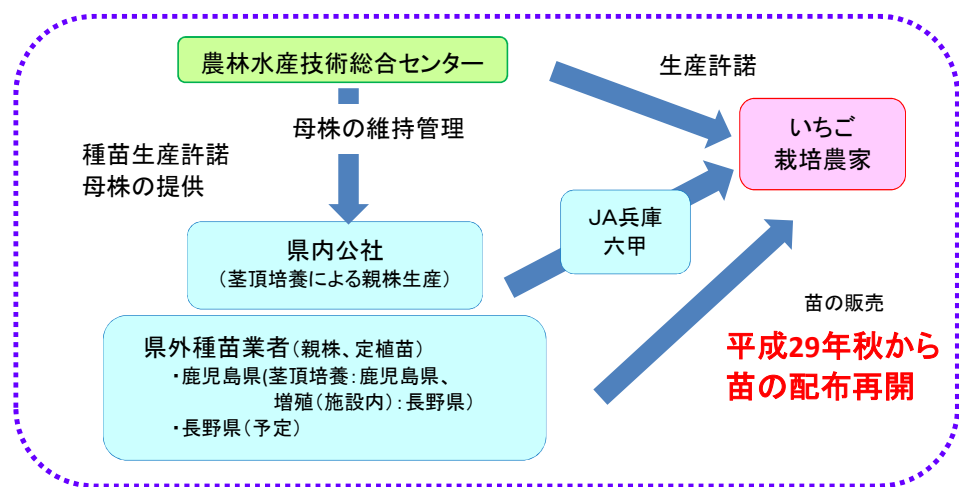


章姫より大きく、果肉がしっかりしているよ

## 2 種苗生産体制の整備

当初は県内の種苗業者(1社)が苗を生産して、生産者へ苗を配布する計画だったが、種苗業者で病害が発生し、計画通り苗を生産できなかった。

そこで、種苗生産体制の再構築を図るため、平成28年度からイチゴ苗生産の実績が豊富な県内外の業者と協議し、無病苗育成のため、再度茎頂培養から苗の増殖に取りかかった。その結果、リスク分散型の種苗生産体制が構築され、平成29年秋には苗の本格的な再配布が可能となった。



## 3 栽培拡大に向けた取り組み

- イチゴの新品種に対応した栽培マニュアルを作成し、定期的な研修会で農家、普及指導員等への技術指導
- 野菜ソムリエによる現地見学及び試食を通じたブログ等での情報発信
- ホテルと連携したフェア開催等により消費者、実需者へ広くPR、シール作成
- パイプハウス等の施設導入支援
- 新品種による栽培実証ほの設置



栽培マニュアル

### 目標栽培面積(32年度)

7.0 ha  
あまクイーン 3.5 ha  
紅クイーン 3.5 ha

栽培者: 神戸 17名、東播 3名、北播 13名、中播 7名、西播 2名、但馬 1名、丹波 2名、淡路 5名

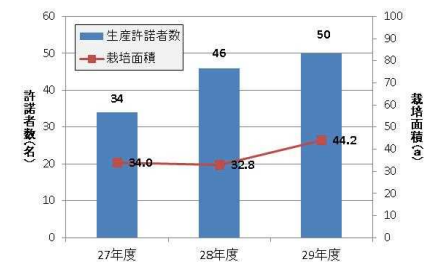


図 栽培面積、生産者数の推移

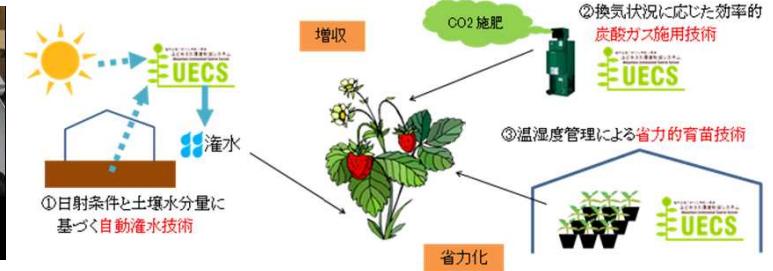
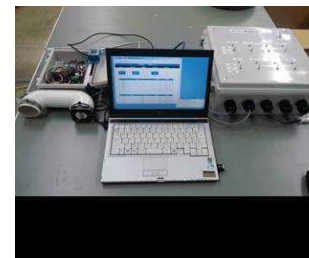
## 4 今後の振興

苗の生産体制が整ったことから、関係機関とさらに連携しオリジナルイチゴの振興を図る

- 新品種の栽培技術支援 → 新品種の特性を活かせる栽培技術の指導 → 技術実証ほの設置
- 生産性の向上 → UECSの導入による複合環境制御技術の実証と普及



UV-Bによる病害虫防除



UECS規格に対応した低コスト自作型システム

環境測定装置(左)と環境制御装置(右)で構成され、モニタリング用PC(中央)から監視および操作が可能

図 UECSを活用した施設環境制御技術開発のイメージ

- 「観光直売の活性化」「需要の拡大(スイーツ、料理食材への活用)」 → 観光もぎ取り園の地域内グループ化(観光業者とのタイアップ) → 加工品の開発 → 洋菓子店、ホテルでの利用促進

- 「PR活動の促進」 → 「あまクイーン」「紅クイーン」のシールの積極的活用 → 産地と実需者のマッチングの推進



図 PRの様子(左:いちごブッフエ)